

「噂の跡を追って」—— 顔の見える取り組み



台湾の「Pink Vests (ピンク・ベスト)」
という活動を知っていますか。早朝の公園や山道、
市場などでひととき目を引く活動です。



すみません

クイズに答えてい
ただけませんか？

このメッセージは
本当か嘘、どちらだ
と思いますか？



ナスとキノコを一
緒に食べてはいけ
ません。この食べ合
わせで既に17人が
亡くなっています！



「Fake News Cleaner (FNC)」は、草の根の活動です。160人のボランティアが高齢者を中心とする市民に声をかけ、身近な話題に関するうわさや誤解を招くような情報について注意を呼び掛けています。

世界の多くの国が高齢化社会を迎えようとしているなか、高齢者が誤った情報や詐欺にどう対処するかが極めて重要になっています。

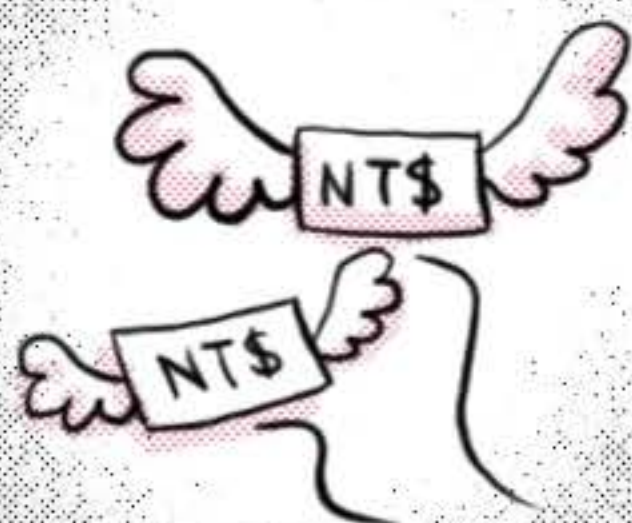


高齢者は、詐欺師から情報リテラシーの低い格好の標的として重点的に狙われているためです。

人に声をかけて立ち止
まってもらうのはけっこ
う難しい!

なので、興味を持ってもらえそ
うわさをクイズ形式にすること
で、会話のきっかけをつくります

関心を引くためにいろい
ろな工夫も…



お金や健康の
問題など、
人々の関心が高く、
共感を得やすい
事例を取り上げる

その人の経験に共感
し、耳を傾ける



情報の真偽の
確認に役立つ
最新のITツールを
紹介する

啓発のために、
日常生活で使える
石鹸などの便利な
小物をプレゼントする



このような短時間のやりとりでは、情報の真偽の確認方法を十分に伝えることはできません。



しかし、FNCの取り組みによって、高齢者に詐欺や不審な情報に対する注意と自覚を促すことができると考えています。

この方法は、単に特定の情報の真偽を明らかにするだけでなく、その情報に含まれるニュアンスの違いを人々に考えてもらうためのものです。到底、一筋縄ではいきません。



自分で真偽を確かめるよりも、手っ取り早く答えを知りたい人も少なくありません。我慢が必要です…



全国でボランティアが不足しています。

誤った情報から受ける影響は
人それぞれ。この問題に
取り組むには、個々のニーズに
合わせる必要があります。

各地での活動は社会の
情報リテラシーの醸成に向けた
第一歩です。



あなたのやり方が声をかけた
人の役に立っているか確認して
ください

噂の跡を追って

検索



**GOETHE
INSTITUT**